

和歌山県



和歌山県は、山と海の魅力に溢れ、静な観光地に恵まれている。
運送手段が海路だったころ、長い海岸線と入り組んだ海岸は天然の良港を生み出し、海運の要地としての有利性を活かして紀州は豊かであった。

ただし、明治時代に運送手段が鉄道に代わってからは、その有利性を失い、かつ、陸路の交通の便にも恵まれなかった。険しい山々と海に挟まれた帯のような陸路は、都市化が進んだ和歌山市から延々と続き、その先はまるで袋小路を思わせる状況である。

このため経済的に不利な地域が出現し、明治以降、多くの困窮者がアメリカへ移住した。日系人の出身地は、和歌山と広島が多い。

奈良県との県境に飛地がある。これは、この地域の主な産業である木材の運搬や人の往来が川の水運によるものであり、下流の新宮との結びつきが強かったためである。

紀伊半島の山々は、火山の大爆発とその後の隆起によって形成された。白浜の千畳敷、三段壁、串本の橋杭岩などは、溶岩が固まって出来た。この辺一帯は、温泉に恵まれている。

奥深い山々は人々の信仰心を掻き立て、高野山や熊野本宮などが、宗教地となり、熊野古道などが世界遺産に登録された。

和歌山城、高野山、大峰山、熊野本宮、熊野古道、那智の滝、千畳敷、三段壁、橋杭岩、白浜温泉、龍神温泉、林業、みかん

和歌山県に縁のある卒業生

昭和49年卒	船戸正久
--------	------

和歌山県に縁のある卒業生からの寄稿、情報提供をお待ちしています。

宛先 dosokai(a)narmed-u.ac.jp (a)を@に替えて送信